

A 氏邸訪問記(2018.6.13)

1. はじめに

A 氏邸訪問は、昨年1月以来で、その時の様子は [A 氏邸訪問記\(2017.1.30\)](#) で報告していますが、その後の変更点の確認とモバイルの活用などを実施させていただきました。

2. A 氏邸のシステムの概要

A 氏邸のシステムで昨年以來、変更があったところは次のとおりです。

前回訪問時は、KEF の LS3/5a と Tannoy Arden を平行に繋いでおられましたが、ST 氏の助言と支援によりチャンネルデバイダーを加え、マルチアンプ駆動とされています。DA コンバーターの SWD-DA20 は、最近ファームウェアとドライバーの更新により BulkPet 伝送に対応しています。また、iPurifierAC を購入されたばかりでした。こういったシステムの変更と PC オーディオの進展を確認させていただき、A 氏のご希望に沿うべく、モバイルの活用に関する器材と音源も準備しましたので、これらの試聴も行いました。



スピーカーシステム



チャンネルデバイダー



Arden 駆動用アンプ (上段)



LS3/5a 駆動用アンプ (前半)



LS3/5a 駆動用アンプ (後半)

変更後のシステムの現状は以下のとおりです。

以前は、LS3/5a と Arden を平行に繋いでおられましたが、チャンネルデバイダーを加え、マルチアンプ駆動としています。チャンネルデバイダーは ST 氏自作の金田式 CR 型で、カットオフは -12dB/Oct 、クロスオーバー周波数は切り替えができます。Arden 駆動用アンプはラグザの WP9055 を BTL 接続とし、LS3/5a 駆動用アンプには、前半はマランツの PM80 を、後半は Quad の 303 を使用しました。

3. A 氏邸のシステムの試聴経過

A 氏のご希望は、システムの変更と PC オーディオのさらなる進展の確認とオーディオへのモバイル活用というテーマです。

まずは、耳慣らしということで、持参した iPad を A 氏邸のルーターに WiFi 接続し、持参したブルートゥースレシーバーの [LBT-AVWAR700](#) 経由で光ケーブルにより SWD-DA20 に入力し、Spotify からのストリーミングの Bluetooth 再生、iPad から持参した [CD レコ](#) で CD を読み出し Bluetooth 再生、CD レコアプリによる CD レコリッピングの iPad 収納音源の Bluetooth 再生、[iAudioGate](#) による PrimeSeat からのハイレゾ音源の Bluetooth 再生などを行いました。Y 氏の iPad においても LBT-AVWAR700 とペアリングを行い、iPad 収納音源を Bluetooth 再生することができました。

さらに持参した [Apple USB 3 カメラアダプター](#) と USB ケーブルによる iPad からの、Spotify 再生、CD レコアプリによる CD レコリッピングの iPad 収納音源再生の再生などを行いました。

以上は、DAC 以降のシステムが整備されてきたこともあって、iPad からの Bluetooth 再生も、USB 経由の再生も、かなりのレベルであるとの諸氏のご感想でした。

次に、PC オーディオで [BulkPet 伝送](#) と [iPurifierAC](#) の効果の確認ということになりましたが、その前にマルチアンプシステムの追い込み調整ということになりました。音源は持参したマーラーの 3 番と三角帽子のアナログ盤から My Sonic の Ultra Eminent Bc で再生し、TASCAM DA-3000 で録音した 5.6MHzDSD 音源を A 氏の PC にインストールされた TASCAM Hi-Res Editor で再生します。

まず、LS3/5a 駆動用アンプを、クロスオーバー周波数を 120Hz のままで、マランツの PM80 から Quad の 303 に替えてみましたところ、音に張りがでて響きも良くなりました。さらにクロスオーバー周波数を 300Hz から 750Hz へと替えていきましたところ 300Hz がもっともバランスの良い印象でした。LS3/5a は小型の密閉箱ですので、低域がこもりがちになるので、あまり低域を伸ばさない方が、またクロスオーバーを上げすぎると折角の LS3/5a のソノリティの良さが削がれるのではないかと思います。なお、Quad の 303 では、高域が少しにぎやかになるすぎるといことで ST 氏が LS3/5a のインシュレーターを調整して改善されました。これまでのインシュレーターは、少し音が大人しすぎるマランツの PM80 ではうまく調整されていたようでした。

ここで BulkPet 伝送の Mode4 とアイソクロナスの比較をしましたが、BulkPet 伝送の方が、3 次元的な音場表現が向上しました。

さらに iPurifierAC の効果の確認ということで、A 氏が購入したばかりのものと持参したものを使用してみました。初めにアナログ系の電源のタップにセットし、ついでデジタル系の電源のタップにセット、最後に両方にセットという順で実施していきました。アナログ系へのセットでは音が柔らかく中間色がしっかりしてくる印象、デジタル系へのセットでは音のメリハリがしっかりして細かい表現が出てくる印象、両方へのセットでは両方の効果が出るようでした。A 氏のご感想では、どちらを取るかと言えば、まずアナログ系へのセットから始めたいとのことでした。

このような調整が進むにつれ、まるでアナログのオリジナルを再生しているかのような印象が強まってきました。音源を、追加で持参したマーラーの 3 番と三角帽子のアナログ盤から My Sonic の Signature Gold で再生し、TASCAM DA-3000 で録音した 5.6MHzDSD 音源に替えましたところ、やはりアナログのオリジナルを再生した印象のとおり、カートリッジの特徴を DSD 録音でも確認でき、一段とグレードの高い音がしていました。

ここで PC による CD 再生に移り、音楽 CD の他、ST 氏が持参されたホワイトノイズやワーブルトーンのスweepの入った CD をかけながら、ST 氏の測定アプリの入った iPhone で F 特性測定を行っていきました。画面をのぞき込んだ限りでは、なだらかな蒲鉾型で極端な凹凸はないようで、聴感の印象と一致していました。



AudioGate による CD 再生 (PC 画面を TV に投影)

最後に、持参した [Apple Lightning-Digital AV アダプター](#) と HDMI ケーブルによるモバイルから TV への画像と音の再生を、Y 氏のお気に入りの女性ボーカル中心の iPad 収納動画で行っていきました。圧縮された動画ソフトでも画面が鮮明なことに驚かせられました。



Y 氏 iPad からの女性ボーカル動画再生

ここで Y 氏から TV の画像は良いが、この TV の音では満足できない、何とか音はオーディオ装置から出せないかという問いかけがあり、TV の光デジタル出力を SWD-DA20 に入力することを提案し、持参した光ケーブルでは長さが不足しますので、早速 Y 氏が長尺の光ケーブルを手配して実現し、音質的には格段に向上することが分りました。さらにネットからの Amazon の音楽映画の鑑賞なども行っていました。Y 氏はこの状況でご満悦の様子でした。

動画ではない音楽音源ではどうかということで、持参した iPad に繋ぎ変え、Spotify のストリーミング再生や、iAudioGate による PrimeSeat からのハイレゾ音源の再生の音質もかなりのレベルであることが確認できたところで、盛りだくさんのプログラムを終わることにしました。

4. まとめ

ST 氏の全面支援で KEF の LS3/5a と Tannoy Arden の変則マルチアンプシステムが

功を奏しており、試聴の過程でさらに追い込みもできました。

PC オーディオでの BulkPet 伝送と iPurifierAC の効果が確認され、オーディオでのモバイルの多彩な展開の可能性も共通の認識となりました。

以上

【後記】

Y氏は早速 Apple Lightning-Digital AV アダプターを入手され、A氏はiPadの導入に意欲を見せておられました。

拙宅では、A氏邸で実施した Apple Lightning-Digital AV アダプターを使用し、iPadの動画の画像はTVで、音声はオーディオシステムで出すという試みをしていませんでしたので、早速追試してみました。写真はiPadでWiFiからBPODCHを再生し、HDMI経由でTV画面に出しているところで、音声はTVのデジタル光出力をSWD-DA20に入力しています。

